

新型コロナウイルス感染症専門家会議からの提言を踏まえたソーシャルディスタンスや3密の回避などの「新しい生活様式」により、これまでの生活スタイルが大きく変わってきています。多くの人々が利用する鉄道においても、公共交通機関としての役割を維持しながら、新しい生活様式にも対応していくことが求められています。そのため、鉄道と人を結ぶ人間科学分野の研究の重要性は、今後、より一層高まっていくものと考えます。

今月号では、鉄道を動かす人、鉄道を利用する人の双方の観点から、安全・安心・快適な鉄道を目指した最新の取り組みについて紹介しました。鉄道を安全に動かすためには、ヒューマ

ンエラーを防ぐための教育訓練が欠かせませんが、シミュレーターやVR技術を活用した体験型教育法は、効果が定着し、形骸化しないようにするための手法として期待されています。また、電磁環境、臭気、視認性といった、鉄道を利用する人から見たさまざまな不安や危険に対応していくことにより、鉄道システム全体の安全性の向上につなげています。

来月号では、鉄道の車両や施設などに使われる材料にスポットをあて、新たな技術開発や劣化現象の解明などの「鉄道を支える材料技術」を特集します。どうぞご期待ください。(T.U.)